

任で次期大会（宮城大会）においても掲示してもらうことになっています。

昨年から一般発表はすべてポスター発表となりましたが、不慣れなポスター発表は敬遠されて参加者数が激減するのではないか、との心配が本企画の動機のひとつでした。しかし、実際には昨年以降ポスター発表件数は急増し、今ではかえってそれが問題化しております。ある会員はこれを称して、「発表者に禁断の木の実を食べさせてしまった。」と言いましたが、ポスター発表の持つ気楽さと十分な議論ができることのメリットを多くの会員に理解してもらえた一方で、未完成で安易な発表が増えているとの可能性も否めません。この点は今後の検討課題として改善を図る必要があります。

（講演企画委員会、田中 博）



写真2 ベストポスター賞の受賞式にて、右は可知美佐子会員。

会員の広場

ベストポスター賞を受賞して

今回はベストポスター賞を授与いただき、大変光栄に存じます。賞をいただきましたポスターの内容は、昨年12月初めに TRMM (熱帯降雨観測衛星)が初画像を取得して以来、これまでに作成された搭載各センサの画像及びデータを気象学会の皆様にご紹介するものであり、今回、地球観測データ解析研究センター(EORC)のTRMM チームが気象学会に提出した3件のポスターのうちの中心的な内容のものでした。この他の2件はそれぞれ、EORCが検証を担当している降雨レーダ(PR)のレベル1プロダクトと地上レーダとの比較についての速報、PRと他のTRMM搭載センサが同時に降雨を観測した例の報告でした。ベストポスター賞のことは考えてもいませんでしたが、ノミネートが決まった段階で3日間も目立つところに掲示していただけると知り、TRMMの観測を皆様にご紹介するという最大の目的がこれですます果たされるであろうことに関係者一同で喜びました。その上、まさ

か賞までいただけるとは、思ってもおりませんでした。さらに秋の学会に掲示していただけるということで、本当に嬉しい限りです。これも、気象学会の方々のTRMM データに対する関心と期待が高いゆえであることと受け止めまして、今後も一同、引き続きデータの作成と検証・解析に努力する所存です。

ポスターはTRMMに関する3件のポスター(実際は他の学会に出すものもあったので、4件でしたが)を平行して同時に作成する形で行ったため、それぞれのポスターのタイトルと説明文の枠、サイズや色調を統一しました。並んで掲示されない限りはあまり効果のない統一でしたが、偶然か講演企画委員会の方々のご配慮か、3件が並んだ形で掲示となりましたので、かなり効果があったのではないかと密かに考えております。ポスターは規定のサイズをA3の紙12枚と想定して、これを一枚ずつ埋めていく形で画像と説明文の配置を考えました。TRMM衛星の観測の特徴、TRMMの各センサの紹介を意図したので、少なくとも5つのセンサ全てについて必ず画像を1枚入れるこ

とにしました。

できるだけ多くの方にポスターを見ていただけるように、基本的には説明する人間がいなくても内容がわかるように配慮してポスターを作成しました。特にこのポスターには画像が多かったので、どの説明文がどの画像に対応するかを説明文の枠から大きな矢印を出すことで示しました。画像の作成にはワークステーション、説明文の作成にはパソコンのソフトウェアを利用しています。説明文の背景や色をもっと凝ったものにするとも考えましたが、見やすさを考慮するとできるだけ簡潔なデザインにする方が良いだろうと判断し、発表したようなシンプルな形になりました。また、これまで他の方々のいろいろなポスターを見てきました経験から、少し離れたところからも見やすいように文字サイズを大きくすることを優先とし、枠内に説明文の方が収まるようひたすら文章の文字数を削りました。このために文章がポイントのみを押さえる形になり、逆にちょっと立ち止まった人にもすぐに内容がわかるくらいシンプルになったように思います。

PRは衛星に搭載された初めての降雨レーダであり、緯度南北35度までの地域における降雨の水平・鉛直方向の分布を昼夜・地上海上を問わず観測することができます。また、この他にもNASAの開発したマイクロ波や可視赤外の観測装置などが搭載されており、複数のセンサによる降雨の観測が可能です。これにより、降水量推定精度の向上が期待されています。各センサは現在も順調に観測を続けており、取得されたデータのうち、レベル1プロダクトがすでに6月1日にリリースされ、推定物理量を含むレベル2及びレベル3プロダクトは8月にリリースされる予定となって

います。データ・リリースや注文の方法を含むTRMMについての最新情報及びTRMMの画像については下記のURLよりインターネット経由で入手が可能です。<http://www.eorc.nasda.go.jp/TRMM> (NASDA/EORC) <http://tmm.gsfc.nasa.gov> (NASA/GSFC)

最後に、これらのポスターの元となった画像及び説明文の作成にあたって、連名に載っていない数多くの方々のお世話になりましたことを記させていただきます。名古屋大学の中村先生をはじめ、東京大学の住先生、通信総合研究所の岡本さん、古津さん、井口さん、北海道東海大学の阿波加先生、気象研究所の中澤さん、井上さん、大阪大学の河崎先生、国立環境研究所の小熊さん、宇宙開発事業団地球観測推進部、地球観測システム技術部及び地球観測センターのTRMM担当の皆さん、EORC及び(財)リモート・センシング技術センターの皆さん、特に上野さん、柴田さん、今岡さん、中島さん、平賀さん、本当にありがとうございました。そして、奇しくも楽しみになっていた降雨レーダの初画像が取得された日にご逝去された東京大学の新田先生には、プロジェクト・サイエンティストとしてTRMM打ち上げに多大なご尽力をいただきました。TRMMに関わるすべての方々に、この場を借りて感謝の意を表したいと思います。

EORC/TRMM チーム：

古川欣司・沖 理子・清水収司・谷田貝亜紀代・可知美佐子・渡辺一幸・広島和弘
(宇宙開発事業団地球観測データ解析研究センター)
西村 修・沼田晶彦・鈴木 靖・東上床智彦
(リモート・センシング技術センター)